

祝歌

歌劇タンホイゼル中の
大行進合唱曲

Grand Marsch & Chor aus "Tanhäuser"

祝歌

(歌劇タンホイゼル中の大行進合唱曲)

Richard Wagner 原作
Manjiro Wakasa 編曲

Allegro $\text{♩} = 72$

Tromp.
mf

Pauke. Str.

Tromp.
mf *cresc.* *ff*

H. Bläser.
Hörner u. Fag.

A

(Ten. I) *mf* be - grü - ssen wir die ed - le

(Ten. II) ア ラ タ ナ ル ヨ ノ ヒ カ リ ニ ヤ マ ヤ
Freu - dig be - grü - ssen wir die Hal - le, wo Kunst und

(Bass I) *mf* wir - die

(Bass II) ア ラ タ ナ ル ヨ ノ ヒ カ リ ニ ヤ マ ヤ

Str. Orch.
mf

Frie* - den im - mer nur ver - weil, B

マ ハ ミ ト リ イ ロ ソ ヒ ミ ワ タ ス ヨ モ ノ ク
 Frie - den nur ver - weil, wo lan - ge noch der Ruf er -
 マ ハ ミ ト リ イ ロ ソ ヒ ミ ワ タ ス ヨ モ ノ ク

Viol. Bläser. Pauke.

Für - - sten, Landgraf Hermann Heil!

ミ - カ セ モ ナ コ ミ テ ナ ミ モ タ タ ズ
 schal - le: Thü - ringens Fürsten, Landgraf Her - mann Heil!
 ミ - カ セ モ ナ コ ミ テ ナ * Her - mann

Viol. Str. u. Fl. 4/2

C (Sopran)

II *
 ミヨ ヒンガ シノ ソラ ヲンメテ ナガクヒク
 Freu - dig be - grü - - ssen wir die ed - le Hal - le,
 III (Alt)
 IV
 ミヨ ヒンガ シノ ソラ - ニヒク
 be - grü - ssen wir die ed - - le Hal - le,

Viol. II.

ム ラーサー キ ノ ヴク モ メ タ ク
 wo Kunst und Frie - den im - mer nur ver - weil!
 ム ラ サ キ ノ ヴク モ メ タ ク
 Kunst und

D

I *
 キケ タカクマフ トリノウタヲ ヴチヨニヤチヨト
 wo lan - ge noch der fro - he Ruf er - schal - le:
 II
 III
 キケ コト リモ ヴチ ヨ - チヨト
 wo lan - ge noch der fro - he Ruf er - schal - le:

Viol. u. Fl. p cresc.

キ ミ イ ハフ - ヴコ エ モ ノ ト カ
 Thü - ringens Für - sten, Land - graf Her - mann Heil!
 キ ミ イ ハフ - ヴコ エ モ ノ ト カ

ff Horn u. Fag.

E

I II

III IV

(Tenor)

(Bass)

Wo lan-ge noch der Ruf er-schal-le, wo lan-ge noch der

ヒ ニ ツ キ ニ ト シ ド シ ニ ト ド マ ラ ズ ス
 ヲオ ヲン ヲノホ ヲル ルーフ エル レ ヲオ ヲン ヲノホ ヲル

Vid. I. I.

ff

(下方ノ小音符ハ混聲ノ場合ニハ、單聲ノ場合ニハ上記ノ聲音部ノミヲ使用スルコト)

Ruf er-schal-le: Thü - rin - gens Für - sten, Land - graf Her - mann Heil!

スム ヨク ニ ノ サ カ エ ヲク ニ ヒ カ リ
 ルーフ エル レ ヲノホ ヲル ヲン ヲノホ ヲル ヲン ヲノホ ヲル

mit Ob. u. Clar.

ff

F

I II

III IV

(Alt)

(Sopran)

(Ten.)

(Bass)

Wo lan-ge noch der Ruf er-schal-le, wo lan-ge noch der Ruf er-schal-le:

ヨ ル ヒ ル ニ ア サ ヲフ ニ ミ ニ ア ビ タ ヤ ス ケ シ キ
 ヲオ ヲン ヲノホ ヲル ルーフ エル レ ヲオ ヲン ヲノホ ヲル

Wo noch lang' der fro - he Ruf laut er - schal - le

ヨ ヲノホ ヲル ヒ ル ニ ア ビ タ ヤ ス ケ
 ヲオ ヲン ヲノホ ヲル ヲノホ ヲル ヲノホ ヲル

ff

※ 本頁以下混聲ノ場合ニハ Tenor ハ 5 頁ノ終マテ、Bass ハ 5 頁第一段ノ終マテ、何レモ一オクターブ上昇シタルツモリニテ歌フコト。

(C dur = 轉調)

Thü - rin - gens Für - sten: Land - graf Her - mann Heil!

ミ カ ミ グ ミ グ ミ グ ミ グ ミ グ ミ グ ミ グ
 ヲン ヲノホ ヲル ヲン ヲノホ ヲル

Thü - rin - gens Für - sten, Land - graf Her - mann Heil!

キ ミ カ ミ グ ミ グ ミ グ ミ グ ミ グ ミ グ
 ヲン ヲノホ ヲル ヲン ヲノホ ヲル

uns' rem Fürsten, Land - graf

ウンス' レム フュルステン ラント グラフ
 ヲン ヲノホ ヲル ヲン ヲノホ ヲル

Bläser: ff

* Fag. u. Str.

G

(f moll = 轉調)

be - grü - ssen wir die Hal - le, wo

タ (mi) タ (ta) タ (mi) タ (ta) タ (mi) タ (ta) タ (mi) タ (ta)

Freu - dig be - grü - ssen wir die ed - le

タ タ タ (mi) タ (ta) タ (mi) タ (ta) タ (mi) タ (ta)

be - grü - ssen wir die ed - le

タ タ タ (mi) タ (ta) タ (mi) タ (ta) タ (mi) タ (ta)

Freu - dig be - grü - ssen wir die Hal - le, wo

タ タ タ (mi) タ (ta) タ (mi) タ (ta) タ (mi) タ (ta)

Bläser: p

Str.

im - mer (F dur = 轉調)

フ(オ) ケ ヤ ヲク ニ ノ ヒ カ リ

Hal - le, wo Kunst und Frie - den nur ver - weil!

ハル(オ) レ, ヲオ クンスト ウント フリ-デン ヲノホ ヲル

Frie - den nur ver - weil!

ヤ ヲク ニ ノ ヒ カ リ

im - mer Kunst und Frie - den ver - weil!

ヤ ヲク ニ ノ ヒ カ リ

ff

Horn u. Fag.

Str.

Urb.

※(コノ處一小節間、歌、ピアノ共ニ第四聲音部ヲ第三聲音部同様ニ演奏スルモ妨ナシ)

H (Sopran) be-grü - ssen
 (Alt) ア ラ タ ナ ル ヴ ミ ヨ ノ ヒ カ リ ニ ヤ マ ヤ
 Freu - dig be-grü - ssen wir die ed - le Hal - le, wo Kunst und
 (Ten.) フロイググエン ヴン ヴン ヴン ヴン ヴン ヴン ヴン ヴン
 (Bass) (B dur) be-grü - ssen
 ff ア ラ タ ナ ル ヴ ミ ヨ ノ ヒ カ リ ニ ヤ マ ヤ
 Freu - dig be-grü - ssen wir die ed - le Hal - le, wo Kunst und
 (I II) 同聲
 (III IV) ア ラ タ ナ ル ヴ ミ ヨ ノ ヒ カ リ ニ ヤ マ ヤ
 Bläser.
 G. Orch. mit Pts. u. Tuba.
 Str.

Frie - den I
 Frie - den im - mer nur ver - weil; wo lan - ge noch der
 フリーデン イムメルヌーヴェイル; ーウオランゲノッヘデア
 Frie - den wo lan - ge
 フリーデン イムメルヌーヴェイル; ーウオランゲノッヘデア
 Frie - den im - mer nur ver - weil; wo lan - ge noch der
 フリーデン イムメルヌーヴェイル; ーウオランゲノッヘデア
 Frie - den wo lan - ge
 フリーデン イムメルヌーヴェイル; ーウオランゲノッヘデア
 Bläser.
 * (低音ノ小音符ハナル)

Ruf er - schal - le, wo lan - ge noch der Ruf er -
 ムフ エルシュALLE, ーウオランゲノッヘデア ムフ エル
 noch der Ruf er - schal - le,
 ノッヘデア ムフ エルシュALLE,
 Ruf er - schal - le, wo lan - ge noch der Ruf er -
 ムフ エルシュALLE, ーウオランゲノッヘデア ムフ エル
 noch der Ruf er - schal - le,
 ノッヘデア ムフ エルシュALLE,
 Bläser.
 * (低音ノ小音符ハナル)

J
 schal - le, wo lan - ge noch der Ruf er - schal - le : Heil! Wo
 シALLE, ーウオランゲノッヘデア ムフ エルシュALLE : ハイ! ーウ
 schal - le, wo lan - ge noch der Ruf er - schal - le : Heil! Wo
 シALLE, ーウオランゲノッヘデア ムフ エルシュALLE : ハイ! ーウ
 schal - le, wo lan - ge noch der Ruf er - schal - le : Heil! Wo
 シALLE, ーウオランゲノッヘデア ムフ エルシュALLE : ハイ! ーウ
 Bläser.
 * (低音ノ小音符ハナル)

lan - ge noch der Ruf er - schal - le : Thü - rin - gens

ラン ゲ ノチ デ ルフ エル シャル レ ヲー リン ゲンズ

(不協和々音 - - - - -)

lan - ge noch der Ruf er - schal - le : Thü - rin - gens

ラン ゲ ノチ デ ルフ エル シャル レ ヲー リン ゲンズ

— ウタ ヒ テ マ ヘ ヤ サ チ ア

(不協和々音 - - - - -)

Für - sten, Her - mann Heil! Heil! Thü - rin - gens

フューステン マン ハイム ア マ モ

ル — ヴタ ニ タ ミ ヲ ヤ マ モ

Für - sten, Her - mann Heil! Heil! Thü - rin - gens

フューステン マン ハイム ア マ モ

ル — ヴタ ニ タ ミ ヲ ヤ マ モ

Tromp. Viol.

Für - sten Heil! Heil! Heil!

フューステン ハイム ハイム ハイム

— ヴラ ヒ ア —

Für - sten Heil! Heil! Heil!

フューステン ハイム ハイム ハイム

— ヴラ ヒ ア —

8^{va} Viol.

ff Thü - rin - gens Für - sten, Her - mann Heil!

フューステン マン ハイム ア マ モ

カ ハ モ ヲ タフ — ヲ ア

ff Thü - rin - gens Für - sten, Her - mann Heil!

フューステン マン ハイム ア マ モ

カ ハ モ ヲ タフ — ヲ ア

molto vivace
8^{va} **ff** (以下迅速)



祝歌 (昭和の御代に寄す)

新なる御代の光りに山々は緑色そひ

見渡す四方の海風も和みて浪もたたず。

見よ、東の空を染めて

長く憾く紫の雲めでたく

聞け高く舞ふ鳥の歌を

千代に八千代と 君祝ふ聲ものどか。

日に月に年々に止まらず 進むよ

國の榮譽 國の威光

夜晝に朝夕に身にあびて安けし

君がみ恵 君が御稜威

讃へや君が御稜威仰げや國のひかり。

新なる御代の光りに山々は緑色そひ

めぐらす四方の海風も和みて

今は磯うつ浪もたたず

あゝ 歌ひて舞へや 幸福ある國民

あゝ 山も笑ひ あゝ 河も歌ふ あゝ。

犬 童 球 溪



- 3 本曲ハ *B dur* (變ロ長調) ニハジマリ次デ *F dur* (ヘ長調) *C dur* (ハ長調) *f moll* (ヘ短調).....*B dur* (ロ長調) 等ノ如クニ順次轉調ス。故ニ音程ノ讀譜等困難ノ場合ニハ其調其調ノ階名ニテ唱フル時却テ容易ナルコトアリ。
- 4 本曲ヲ混聲ニテ演奏スル場合ニハ特ニ *Sopran, alt, Tenor, Bass* ノ諸記號ニ注意スルコト。

○本書は混聲、同聲何れの合唱にも使用し得るやう編作してあります。

本曲は別記の如く其伴奏の部分だけでも既に獨立した立派な音楽であるが故に、單にピアノノ獨奏用曲としても使用することが出来ます。

○本曲は全部單音にて齊唱するも差支へありません。

○本曲伴奏音譜中の小音符は適宜に省略、隨意であります。

○本曲を同聲三部とせず、特に同聲四部曲として編曲した理由は、元來本曲が特に多人數によつて演奏せらるべき性質のもの即ち集團歌的のものであるからであります。

學校等に於ては全校を擧げて一團としたる大合唱團の編成によつて演奏せられん事を希望いたします。

其場合に出來れば、ピアノの伴奏に加ふるに更に若干の管絃樂器を加味したる所謂小管絃樂の伴奏にて演奏することが出來れば幸であります。

そこで本曲譜中には、それ等の便宜の爲に、管絃樂器編成上の簡略なる諸符號を註記して置くことにいたしました。例へば *Tromp.* はトロンバットで、都合ではホルネットを以て代用するも差支へなく、*Tranke* はティンパニ(壺太鼓)、*Bläser* は管樂。*Str. Orch.* は絃樂等の類であります。

解説

○ドイツの大作作曲家ワグネル(Richard Wagner 1813-1882)は単に大音楽家として有名であるのみならず、彼はまた、自ら詩人であり、哲学者であり、亦政治家であったのである。

彼は世界全音楽の大改革者であるとともに、また世界最大の人物として尊崇せられてゐる。
「タンホイゼル」は彼の多くの傑作歌劇曲の中でも特に代表的なもので且有名である。

○ドイツ、チュウリンゲン州の領主ヘルマンの臣下、騎士タンホイゼルは妖魔の幻術にかゝり、ながく王城を捨て、山中の生活を續けてゐる。

遙かに響く聖寺の鐘、聖歌の妙音にめざめたる彼は、偶然として王城に立ちかへるので、城主ヘルマンは彼の復讐を視すべく、開歌會(歌の競技會)を催すが、技にまたはからずも彼の過去の生活罪障が發覺して終に禍を彼に實しむることとなり、再び彼は王城を去つて、贖罪のため、ローマへ巡禮の旅立をする。

○本曲はその第二幕目、歌の争ひの開かれる前に演奏せられる行列の有名な大行進曲で、大合唱を伴ひたる頗る莊麗勇大なる大合奏曲である。

曲は先づ人寄せの劇風にはじまる。メロディはずべて獨逸チュウリンゲンの民謡に基くもので、頗る勇大に高尚且輕快である。演奏の進むにつれ、次第に勢力を増大して喧囂莊麗豪快の内に終を告げる。
ワルトブルグ城内の大廣間に於て、騎士及び貴族等は此の行進曲に和して左の如き意味の祝歌を合唱する。

藝術の花咲きには、平和の此園！
尊き此版！！

我チュウリンゲンの君！！
我等が主ヘルマン君！！
君萬歳と千代に八千代に榮えよ。

(定價金參拾錢)

共益ボーカル樂譜

513	鍛冶屋さんの唄	(單聲二部合唱曲)	ブエグダイ 原作	・20
514	天地の開闢	(單聲三部合唱曲)	ハイドン 原作	・30
515	歌劇ローレライ	(單(混)聲三部合唱曲)	メンゲルスゾーン 原作	・30
516	乙女ロゼマの歌	(單聲三部合唱曲)	本居良長 原作	・20
517	歌迎の歌	(女聲三部合唱曲)	モリアート 原作	・30
518	祝歌	(單(混)聲合唱曲)	ブグナル 原作	・30
519	紡ぎ歌	(女聲三部合唱曲)	ブグナル 原作	・30
520	たそがれ	(女聲三部合唱曲)	アプト 原作	・20
521	春の雨	(女聲二部合唱曲)	澤田 柳吉 原作	・20
522	歌喜の歌	(單(混)聲合唱曲)	グルフク 原作	・30
523	科の木	(單聲三部合唱曲)	シュベルト 原作	・20
524	望郷の歌	(單聲三部合唱曲)	トーマス 原作	・20
525	森の合唱	(獨唱獨明及合唱曲)	メンゲルスゾーン 原作	・30
526	歌劇アルセス	(獨唱及合唱曲)	グアルツ 原作	・30
527	眠れ静かに	(獨唱及合唱曲)	シュマン 原作	・30
528	フーリー(天女)の合唱	(女聲三部合唱曲)	シュマン 原作	・30
529	春よ来れ	(單(混)聲合唱曲)	ハイドン 原作	・30
530	美しいエレン	(女聲三部合唱曲)	ブルック 原作	・30
531	我等に勇士を興へよ	(單(混)聲四部合唱曲)	ヘンデル 原作	・30
532	我等は戦場に起かん	(單(混)聲四部合唱曲)	ヘンデル 原作	・30
533	見よ!! 勇士は歸る	(女聲三部合唱曲)	ヘンデル 原作	・20
551	清秋の流	(單聲三部合唱曲)	ブラームス 原作	・15
552	秋の歌	(單(混)聲三部合唱曲)	メンゲルスゾーン 原作	・15
553	秋夜の歌	(單聲二部合唱曲)	ルベンスティン 原作	・15
554	埠頭の別	(單聲二部合唱曲)	ベートーベン 原作	・15
555	別れの歌	(單聲三部合唱曲)	タルニマン 原作	・15
801	春の興	(單聲三部合唱曲)	ワグネル 原作	・50
802	歌迎の歌	(混聲合唱曲)	ワグネル 原作	・50

昭和三年八月一日印刷
昭和三年八月四日發行

編者 若狭萬次郎

發行所

發行者 白井保男
印刷所 共益商社書店印刷部



東京市芝区松本町四十四番地
會社 共益商社書店
振替東京一五八〇番
電話高輪四〇五六、四〇五七